

日本獣医生命科学大学
付属ワイルドライフ・ミュージアム

年報

第 3 号

2019 年度(令和元年度)

日本獣医生命科学大学
付属ワイルドライフ・ミュージアム



麻布区役所庁舎棟札

扉写真解説：麻布区役所庁舎棟札

博物館が展示室として活用している本学一号棟(本館)は、1909 年(明治 42 年)に東京市麻布区役所庁舎として竣工した建物を、学校校舎として活用するために現在の場所へ移築したものです。一号棟は都内に唯一現存する明治期の役所建築であり、2019 年(令和元年) 11 月に開催された国の文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、登録有形文化財(建造物)に登録するよう文部科学大臣に答申されました。

扉の写真は、麻布区役所庁舎^{じょうとう}上棟時に作製された棟札^{むなふだ}です。建物を建てる際、柱や梁^{はり}などの骨組みが完成した後、屋根の頂部の木材^{むなぎ}(棟木)を設置することを、「棟上げ」や「上棟」「建前^{たてまえ}」といいます。この時に棟木や棟木を支える柱^{むなづか}(棟束)に設置する、建物名や上棟年月日などの情報を記した木札が「棟札」です。扉の棟札は、一号棟の文化財登録に向けた調査(2018 年(平成 30 年)実施)の際に、一号棟の屋根裏にて発見されました。

巻頭言

2019年度の日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアムにおける博物館活動を取りまとめ、年報第3号として刊行いたしました。巻頭にあたり、今年度のトピックスと来年度の計画をご紹介します。

本学の開学150周年を目指して策定された中長期計画「ニチジュウ・ミライ図」で、博物館の一般常時公開が目標として示されていることから、博物館として利用している本学一号棟(本館)の保存と耐震化を実現すべく、今年度はその準備に取り組んでまいりました。

さいわい、建築関係の専門家の先生方や武蔵野市ならびに東京都教育委員会のみなさまのご尽力を賜り、2019年11月に国の文化審議会から一号棟が登録有形文化財(建造物)にふさわしいとの答申をいただき、官報告示を経て登録されることとなりました。本学では今後、一号棟を国の文化財として保存するとともに、学内外に広く活用していただけるよう施設整備を進めたいと考えております。

主要な博物館活動である展示活動については、歴史系展示では、一号棟の建物が旧東京市麻布区役所庁舎として竣工して今年度で110周年にあたることを記念して、建物の歴史を中心に充実させました。また、自然系展示では、獣医学部では本邦初となる野生動物学教室が本学に創設されて35周年を迎えたことから、本学における野生動物学研究の最前線をご紹介します企画展を開催いたしました。

さらに、地元武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館との共催企画の開催や、日本博物館協会および東京都三多摩公立博物館協議会への加盟など、関係博物館との連携を進め始めております。

これからも社会に開かれた大学を実現するために、博物館活動を発展させてゆく所存です。今後とも本博物館へのご理解とご協力をお願いいたします。

2020年(令和2年)2月

附属ワイルドライフ・ミュージアム
館長 羽山 伸一

目次

巻頭言	1
-----	---

I. 展示活動

1. 企画展示	4
2. 常設展示	8
3. その他の展示活動	10

II. 教育普及活動

1. 学芸員課程受講生対象事業	11
2. 在学生対象事業	14
3. 受験生対象事業	15
4. 社会連携	15
5. 情報発信	17

III. 収蔵資料

1. 収蔵資料目録作成状況	19
2. 新規収蔵資料	19
3. 資料の保存	19
4. 資料の貸出	20

IV. 統計・資料

1. 入館データ	21
2. 組織・構成	23
3. 年間の活動記録	23

(扉写真：麻布区役所庁舎棟札)

※本年報では、2019 年(平成 31 年) 3 月 1 日(金)から 2020 年(令和 2 年) 2 月 29 日(土)までの活動と出来事をまとめています

I. 展示活動

1. 企画展示

2019 年度自然系展示室企画展「日獣大の野生動物研究最前線」

(1) 実施形態

【主催】

日本獣医生命科学大学付属ワイルドライフ・ミュージアム

【会期】

2019 年(令和元年) 8 月 17 日(土)から 2020 年(令和 2 年) 4 月 30 日(木)(予定)

【会場】

日本獣医生命科学大学付属ワイルドライフ・ミュージアム 自然系展示室

【企画構成】

石井奈穂美(学芸員)

(2) 趣旨

本学は、1881 年(明治 14 年)に日本初の私立獣医学校として創立して以来、138 年間にわたり獣医学・畜産学のパイオニアとしていくつもの新たな分野を開拓し、先進的な取り組みを行ってきた。その一つが「野生動物学」の創生である。

獣医学・畜産学は家畜の科学として始まったものであるが、そもそも家畜は野生動物を人間が育種改良して作り出した人工の動物である。したがって、これらの学問分野の基礎として、野生動物についての知識が必要となるが、獣医学・畜産学では野生動物が研究対象に位置づけられていなかった。

20 世紀後半には、野生動物による一次産業被害の発生や、絶滅危惧種の増加など、人間と野生動物の関係は悪化の一途をたどるようになる。そこで本学は、単なる動物学としてではなく、人間との共存のための科学として新たな学問分野を切り開くことを目指し、1984 年(昭和 59 年)に獣医学科としては日本初となる野生動物学教室[※]を創設した。

野生動物学教室創設以降、本学では、多くの研究者がそれぞれの学問分野を背景に、野生動物を研究対象として多様化かつ複雑化する野生動物問題の解決に必要な研究や人材育成に取り組んできた。これまでの取り組みと研究の成果を紹介することを目的に、本企画展を開催した。

[※] 現 野生動物学研究室(2018 年(平成 30 年)に獣医学科は各教室の名称を研究室に改称した)

(3) 展示構成

【導入】

本学と野生動物の関わりを年表にまとめた。

【研究紹介】

本学で行われている野生動物に関する研究の中から、5 つの研究成果を紹介した。研究テーマごとに、研究の概要をまとめたパネルと研究に関する資料を展示した。

・捕獲された個体を解析する —ニホンザル×繁殖生理—

野生動物学教室創設当初から続けられている、ニホンザルを対象とした繁殖生理の研究について紹介した。

・外来種の生息地利用を考える —アライグマ×行動追跡—

日本各地に定着した外来種であるアライグマが、どのような環境を好んで利用しているのかを明らかにするために実施した行動追跡調査について紹介した。

・見えない生態を可視化する —ツキノワグマ×生態調査—

ツキノワグマは、冬眠中に出産する、1年半という長期にわたり子育てを行う、といった独特な繁殖生態を持つ。警戒心が高く直接目視することが困難なツキノワグマの親子のつながりを明らかにするために実施した、3つの調査について紹介した。

・絶滅危惧種の死因を探る —アマミトゲネズミ×病理検査—

奄美大島固有のげっ歯類であり、絶滅の危機に瀕しているアマミトゲネズミの死亡個体を対象に実施した病理検査についてまとめた。

・栄養で動物の体をコントロールする —ヤンバルクイナ・ライチョウ×栄養—

絶滅危惧種であるヤンバルクイナとライチョウは、生息域外保全の対象種となっている。野生復帰を成功させるためには、生息環境に適した代謝形質を持つ個体を作出する必要があり、そのために必要な餌の開発について紹介した。

【日獣大の野生動物関連教育】

現在学内で行われている野生動物関連教育の内容をパネルにまとめた。



導入部分



研究紹介① 捕獲された個体を解析する



研究紹介② 外来種の生息地利用を考える



研究紹介③ 見えない生態を可視化する



研究紹介④ 絶滅危惧種の死因を探る



研究紹介⑤ 栄養で動物の体をコントロールする

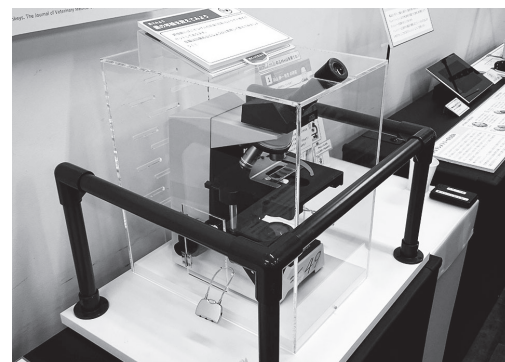
(4) 展示資料の概要

解説パネル：28点 展示資料：32点

研究テーマごとに展示台を1台設置し、研究で用いた標本や道具、関連する資料を展示した。また、それぞれの展示台にて、研究関連資料のハンズオン展示を実施した。



ニホンザルの頭蓋骨標本



研究に用いたスライドを設置した顕微鏡

(5) 関連イベント

該当なし

2019 年度歴史系展示室企画展「麻布区役所と日獣大 ～110 年間の歩み～」

(1) 実施形態

【主催】

日本獣医生命科学大学付属ワイルドライフ・ミュージアム

【会期】

2019 年(令和元年) 11 月 1 日(金)から 2020 年(令和 2 年) 4 月 30 日(木)(予定)

【会場】

日本獣医生命科学大学付属ワイルドライフ・ミュージアム 歴史系展示室

【企画構成】

石井奈穂美(学芸員)

(2)趣旨

博物館の展示室が設置されている本学一号棟(本館)の歴史は、1909年(明治42年)まで遡ることが出来る。この年の6月、東京市麻布区麻布市兵衛町(現 東京都港区六本木3丁目)において、木造2階建ての麻布区役所庁舎が竣工した。この庁舎は1923年(大正12年)の関東大震災を乗り越えたものの、1935年(昭和10年)に新たに建てられたコンクリート造の庁舎での業務が始まると、役目を終えて使われなくなった。このころ、本学の前身校である私立日本獣医学校は、当時校舎のあった目黒村(現目黒区)から武蔵野町(現 武蔵野市)への移転を決断し、現在の校地において校舎の建築を開始した。このとき、使われなくなっていた麻布区役所庁舎を学校校舎として活用するために移築したものが現在の一号棟である。

区役所庁舎を学校校舎として活用するにあたり、改装・改築が行われているものの、都内に現存する唯一の明治期の役所建築である一号棟は、歴史的価値を持つ貴重な建造物であると言える。2019年(令和元年)は、麻布区役所庁舎の竣工から110年目となる記念すべき年であることから、これまでの一号棟の歴史を振り返る企画展を開催した。

※企画展会期中の2019年(令和元年)11月15日(金)に、国の文化審議会文化財分科会より一号棟を登録有形文化財(建造物)として登録するように文部科学大臣に答申された

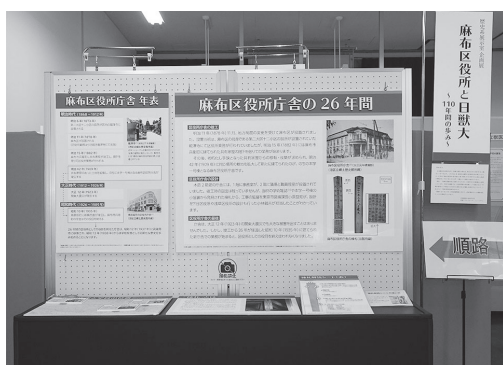
(3)展示構成

【麻布区役所庁舎の26年間】

麻布区役所庁舎が竣工してからその役目を終えるまでの26年間にわたる歴史をまとめた。

【一号棟の81年間】

麻布区役所庁舎が本学校舎として移築され、現在に至るまでの81年間にわたる歴史をまとめた。



麻布区役所庁舎の26年間



一号棟の81年間

(4)展示資料の概要

解説パネル：8点 展示資料：3点

一号棟の麻布区役所庁舎としての26年間と学校校舎としての81年間のそれぞれの歴史を、解説パネルと年表にまとめた。また、一号棟の屋根裏から新たに発見された棟札(扉写真参照)を、画像とともに紹介した。

(5)関連イベント

該当なし

2. 常設展示

歴史系展示室(第2期常設展示)

(1) 展示期間

2018年(平成30年)8月18日(土)から継続中

(2) 展示構成

昨年度から引き続き大学史に関する展示を行った。展示内容は昨年度と同様であるが、企画展スペース確保のため展示資料とパネルの配置を変更した。

【大学の歩み】

1881年(明治14年)に本学が創立してから現在の姿になるまでの歴史について、展示・解説を行った。展示室入口に設置した大学史年表パネルと対応するように、本学の歴史を7つの時代(私立獣医学校時代・私立東京獣医学校時代・私立日本獣医学校時代・日本高等獣医学校時代・日本獣医畜産専門学校時代・日本獣医畜産大学時代・日本獣医生命科学大学時代)に分け、それぞれの時代の解説パネル・写真パネル・関連資料を展示した。

【武蔵境への移転】

日本初の私立獣医学校として誕生してから現在の姿になるまでに、本学は5回の校地変更を経験している。1937年(昭和12年)には、獣医師法の公布をきっかけに目黒村(現目黒区)から武蔵野町(現武蔵野市)へ移転した。現在の校地での教育の契機となった武蔵野市への移転について、当時の状況をまとめ、関連する資料を展示した。



展示室の様子①



展示室の様子②

(3) 展示資料の概要

解説パネル：12点 写真パネル：33点 展示資料：23点

本学創立者の講義をまとめた書籍や、明治時代に使われていた獣医書など、本学の歴史に関する資料を中心に展示した。なお、展示資料のうち、古書の一部は本学図書館にて保管されているものを借用した。

(4) 関連イベント

該当なし

自然系展示室(第4期常設展示)

(1) 展示期間

2019 年(令和元年) 8 月 17 日(土)から継続中

(2) 展示構成

昨年から引き続き、日本の里山に暮らす野生動物に関する資料の展示を行った。また、昨年度までは企画展の資料として展示していた剥製を、常設展示部分にて展示した。

【骨からわかる動物のこと】

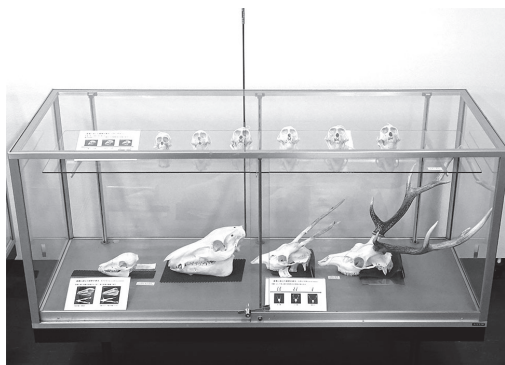
里山に生息する野生動物の頭蓋骨を、ガラスケース 2 台に分け展示した。片方のケースには、成長に応じた形態の変化を比較できるように資料を配置した。もう片方のケースには、動物種ごとの違いが比較できるように資料を配置した。

【里山の動物たち】

日本の里山に暮らす代表的な野生鳥獣の剥製と、里山から里地にかけての環境を模したミニチュアジオラマを展示した。

【博物館と学芸員課程】

当館は、本学にて学芸員課程を受講している学生の実習の場としての機能を持つ。学芸員課程受講生の活動を紹介するとともに、今までに学芸員課程受講生が博物館実習(学内実習)の一環として作製してきた標本を展示した。



「骨から分かる動物のこと」の展示風景



「博物館と学芸員課程」の展示風景

(3) 展示資料の概要

解説パネル：10 点 骨格標本：19 点 剥製標本：37 点

ミニチュアジオラマ：1 点 学芸員課程受講生作製標本：6 点

※ 2018 年度から展示しているニホンザル頭蓋骨標本 12 点の内 6 点は、常設展から企画展に移動した

(4) 関連イベント

該当なし

3. その他の展示活動

廊下ミニ展示：令和元年度 学芸員課程博物館実習(学内実習)

獣医保健看護学科学芸員課程受講生(4 年)による展示

(1) 展示形態

【主催】

日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医保健看護学科 学芸員課程

【展示期間】

2019 年(令和元年) 11 月 1 日(金)から 2020 年(令和 2 年) 4 月 30 日(木)(予定)

【会場】

日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム 廊下ミニ展示コーナー

【企画構成】

学芸員課程受講生(獣医保健看護学科 4 年生 12 名)

(2) 展示構成・展示資料の概要

獣医保健看護学科に所属する学芸員課程受講生の 4 年生 12 名が 3 つの班に分かれ、班ごとにテーマを決めて展示を実施した。

- ・ A 班：はじめての野生動物学～食性からわかる歯の違い～

解説パネル：4 点 展示資料：3 点

- ・ B 班：野生動物の数を知る～ヘアトラップのお話～

解説パネル：4 点 展示資料：1 点

- ・ C 班：意外と知らない!? ウサギのお話

解説パネル：10 点 展示資料：4 点



ミニ展示ゾーンの様子



A 班の展示の様子



B 班の展示の様子



C 班の展示の様子

Ⅱ．教育普及活動

1. 学芸員課程受講生対象事業

(1) 講義での活用

【博物館教育論】

- ・ 期間・来館者数

2019 年(令和元年) 10 月 5 日(土) 31 名

2019 年(令和元年) 12 月 21 日(土) 6 名

- ・ 対象

学芸員課程受講生(3 年生)

- ・ 内容

自然系展示室の見学を受け入れた。

【博物館情報・メディア論】

- ・ 期間・来館者数

2019 年(令和元年) 10 月 5 日(土) 15 名

- ・ 対象

学芸員課程受講生(2 年生)

- ・ 内容

歴史系展示室・自然系展示室の見学を受け入れた。

【博物館資料保存論】

- ・ 期間・来館者数

2019 年(令和元年) 12 月 26 日(木) 26 名

- ・ 対象

学芸員課程受講生(2 年生および 3 年生)

- ・ 内容

歴史系展示室・自然系展示室・資料保管室の見学を受け入れた。また、当館における資料保存の現状や資料害虫対策について、学芸員が解説を行った。

(2) 博物館実習(学内実習)の受け入れ

本学で学芸員課程を受講する学生の中で希望する者を対象に、博物館の活動に参加する機会を設けるほか、展示場所を提供した。

【展示替えおよび企画展準備作業】

- ・ 期間・参加者数

2019 年(令和元年) 7 月 10 日(水)から 8 月 14 日(水) 述べ 15 名

- ・ 対象

学芸員課程受講生(3 年生および 4 年生)

・ 内容

学芸員の指導のもと、学芸員課程受講生による解説パネルの作製や資料の陳列が行われた。



解説パネルを作製する受講生



解説パネルを設置する受講生

【特別開館関連作業】

・ 期間・参加者数

2019 年(令和元年) 8 月 17 日(土) 1 名
2019 年(令和元年) 8 月 18 日(日) 5 名
2019 年(令和元年) 10 月 6 日(日) 13 名
2019 年(令和元年) 11 月 1 日(金) 11 名
2019 年(令和元年) 11 月 2 日(土) 9 名
2019 年(令和元年) 11 月 3 日(日) 11 名

・ 対象

学芸員課程受講生(2 年生から 4 年生)

・ 内容

学芸員の指導のもと、受付や展示解説を行うスタッフとして学芸員課程受講生が特別開館に参加した。



展示解説を行う受講生

【受講生による展示】

・ 令和元年度学芸員課程博物館実習(学内実習) 獣医保健看護学科学芸員課程受講生(4 年)による展示

» 展示期間

2019 年(令和元年) 11 月 1 日(金)から 2020 年(令和 2 年) 4 月 30 日(木)(予定)

» 企画構成

学芸員課程受講生(獣医保健看護学科 4 年生 12 名)

» 内容

獣医保健看護学科に所属する学芸員課程受講生の4年生12名が3つの班に分かれ、班ごとにテーマを決めて展示を実施した。

※詳細は「Ⅰ. 展示活動 3. その他展示活動」(10 ページ)を参照

• “Knowledge in various fields” ～飼育及び飼養動物に関する研究～

» 展示期間

2020 年(令和 2 年) 2 月 17 日(月)から 2 月 28 日(金)

» 企画構成

学芸員課程受講生(獣医保健看護学科 4 年生 1 名および動物科学科 4 年生 2 名)

» 内容

学芸員課程担当教員による指導のもと、卒業論文をテーマとしたポスター展示が行われた。

【受講生による資料整理】

2015 年(平成 27 年)の開館以来、学芸員課程担当教員による指導のもと、学内実習の一環として学芸員課程受講生による収蔵資料目録の作成が行われてきた。2020 年(令和 2 年) 2 月の時点で整理作業が終了している資料は次の通りである。

骨格標本：20 点 剥製標本：56 点 書籍類：1,323 点

(3) 資料の貸出

【博物館資料論】

• 期間

2019 年(令和元年) 5 月 18 日(土)

• 対象

学芸員課程受講生(2 年生および 3 年生)

• 貸出資料

ニホンイノシシ頭蓋骨標本 1 点

ヒヨドリ剥製標本 1 点

【博物館情報・メディア論】

• 期間

2019 年(令和元年) 12 月 14 日(土)

2019 年(令和元年) 12 月 26 日(木)

• 対象

学芸員課程受講生(3 年生)

• 貸出資料

ニホンジカ頭蓋骨標本 1 点(12 月 14 日)

ハイタカ剥製標本 1 点(12 月 14 日・26 日)

【博物館実習(学内実習)】

・期間

2020 年(令和 2 年) 1 月 25 日(土)

・対象

学芸員課程受講生(4 年生)

・貸出資料

タヌキ剥製標本 1 点

ニホンジカ頭蓋骨標本 1 点

ニホンイノシシ(成獣)剥製標本 1 点

ニホンイノシシ(幼獣)剥製標本 1 点

2. 在学生対象事業

(1) 講義・実習場所としての活用

本年度実績なし

(2) 資料の貸出

本年度実績なし

(3) その他

【学位記授与式に合わせた開館】

・期間・来館者数

2019 年(平成 31 年) 3 月 14 日(木) 20 名

・対象

本学関係者(在学生・教職員・卒業生)および学位記授与式の参列者

・内容

学位記授与式に合わせて博物館を開館した。

【入学式に合わせた開館】

・期間・来館者数

2019 年(平成 31 年) 4 月 4 日(木) 54 名

・対象

本学関係者(在学生・教職員・新入生)および入学式の参列者

・内容

入学式に合わせて博物館を開館した。

【春季見学会】

・期間・来館者数

2019 年(平成 31 年) 4 月 11 日(木)から 4 月 26 日(金) 64 名

※日曜日・月曜日は休館

- ・対象

本学関係者(新生を含む全在学生および教職員)

- ・内容

入学式翌週から展示替えまでの約2週間博物館を開館した。

【ニチジュウシンポジウムに合わせた開館】

- ・期間・来館者数

2019年(令和元年)12月6日(金)から12月13日(金)41名

※日曜日・月曜日は休館

- ・対象

本学関係者(在学生および教職員)

- ・内容

「第2回ニチジュウシンポジウム2019」の開催を記念し、シンポジウム当日から約1週間博物館を開館した。

3. 受験生対象事業

(1) オープンキャンパスに合わせた開館

- ・期間・来館者数

2019年(令和元年)8月17日(土)から18日(日)1,379名

2019年(令和元年)10月6日(日)186名

2019年(令和元年)11月2日(土)から3日(日)1,094名

※8月17日・18日の来館者数にはキャンパスツアーの一環で来館した人数が含まれる

- ・対象

オープンキャンパス来場者

- ・内容

本学オープンキャンパスに合わせて博物館を開館した。8月に開催されたオープンキャンパスでは、学内を巡るキャンパスツアーの会場の一つとして自然系展示室が活用された。

4. 社会連携

(1) 学外イベントへの協力

【第15回 森の地図スタンプラリー】

- ・期間

2019年(令和元年)11月1日(金)から3日(日)

- ・主催

一般社団法人武蔵野コッツウォルズ

- ・内容

「森の地図スタンプラリー」は、一般社団法人武蔵野コッツウォルズ主催のスタンプラリーイベントである。武蔵野地域に設置されたスタンプを集めることで、地域の歴史や文化にふれながら回遊を楽しむことが出来る。当館は、特定の日のみにスタンプを設置する「スペシャルラリーポイント」として活用された。

(2) その他

【武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館との連携】

・企画展「ヒトと動物の物語～歴史民俗資料に見る武蔵野の動物～」

» 主催

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館、日本獣医生命科学大学付属ワイルドライフ・ミュージアム

» 期間

2019 年(令和元年) 5 月 18 日(土)から 7 月 18 日(木)

» 会場

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 第二展示室

» 内容

武蔵野の歴史や文化について理解を深めるため、動物という切り口からアプローチする企画展を開催した。企画展に合わせ、当館所蔵剥製の貸出しと解説パネルの出張展示が行われたほか、当館館長による講演会、当館学芸員による展示解説、本学でのキッズイベントが実施された。

» 貸出資料

ニホンイノシシ剥製標本 1 点

ニホンジカ剥製標本 1 点

» 関連イベント

・キッズイベント「日本獣医生命科学大学探検～キッズ・オープンキャンパス～」

日程：2019 年(令和元年) 6 月 29 日(土)

内容：本学を会場に、学生による解説ツアーを実施した

・展示解説

日程：2019 年(令和元年) 6 月 30 日(日)

内容：当館学芸員石井奈穂美による出張解説を実施した

・講演会「いまどきのヒトと動物の関係」

日程：2019 年(令和元年) 7 月 7 日(日)

内容：当館館長羽山伸一による出張講演を実施した

・キッズイベント「武蔵野動物観察隊～博物館で武蔵野の動物をスケッチしよう～」

日程：2019 年(令和元年) 7 月 13 日(土)

内容：当館を会場に、武蔵野地域で見ることが出来る野生動物の剥製のスケッチを行うワークショップを実施した

・企画展「武蔵野の文化住宅とモダニズム建築」

» 主催

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館

» 期間

2019 年(令和元年) 7 月 27 日(土)から 9 月 26 日(木)

» 会場

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 第二展示室

» 内容

武蔵野市域を中心に、文化住宅やモダニズム建築を紹介する企画展において、本学一号棟が取り上げられた。当館は所蔵資料の画像提供を行った。

» 関連イベント

該当なし

【学校法人聖徳学園との連携】

・ワークショップの実施

» 日程

2020 年(令和 2 年) 1 月 11 日(土)

» 会場

日本獣医生命科学大学 一号棟 第一会議室

» 内容

2019 年(令和元年) 9 月に、本学と学校法人聖徳学園は連携事業に関する協定を締結した。当館では、聖徳学園小学校にて理科特別研究を選択する小学 5・6 年生を招き、タヌキ・アライグマ・ハクビシンの違いを学ぶワークショップを実施した。

5. 情報発信

(1) Web サイトの公開

【サイトの構成】

- ・博物館のご案内…当館の目的や特色を紹介
- ・博物館ニュース…開館についてのお知らせや活動の報告を掲載
- ・開館情報…開館日や見学の申込先等、開館に関する情報を掲載
- ・展示室のご案内…歴史系展示室・自然系展示室の展示内容を紹介
- ・アクセス…博物館までのアクセスを掲載
- ・よくあるご質問…観覧所要時間や駐車場の有無など、今までにいただいた質問に対する回答を掲載

(2) 報道機関等による紹介

- ・読売新聞(朝刊)「ヒトと動物 交流ヒストリー」(武蔵野 14 版 27 面(地域))

発 行：読売新聞東京本社

発行日：2019 年(令和元年) 5 月 18 日(土)

内 容：武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館と共催の企画展「ヒトと動物の物語～歴史民俗資料に見る武蔵野の動物～」の紹介

・多摩のあゆみ 第 175 号

「連載 洋風建築への誘い 64 明治のたてもの調査同行記—日本獣医生命科学大学 武蔵野市—」

著 者：伊藤龍也

発 行：公益社団法人たましん地域文化財団

発行日：2019 年(令和元年) 8 月 15 日(木)

内 容：一号棟の文化財登録に向けた調査の様子を紹介

・東京新聞(朝刊)「旧東京市麻布区役所庁舎 国登録有形文化財に」(多武 24 面(地域の情報))

発 行：中日新聞東京本社

発行日：2019 年(令和元年) 11 月 16 日(土)

内 容：一号棟の文化財登録の紹介

・読売新聞(朝刊)「日獣医大建物 国文化財に」(武蔵野 14 版 25 面(地域))

発 行：読売新聞東京本社

発行日：2019 年(令和元年) 12 月 13 日(金)

内 容：一号棟の文化財登録の紹介

・武蔵野間税会 会報 Vol.176

「「日本獣医生命科学大学一号棟」が国の登録有形文化財(建造物)に登録されます」

発 行：武蔵野間税会 会長 荒井弘美

発行日：2020 年(令和 2 年) 1 月 1 日(水)

内 容：一号棟の文化財登録の紹介

・J:COM チャンネル「デイリーニュース」

放 送：株式会社ジェイコム東京

放送日：2020 年(令和 2 年) 1 月 30 日(木)

内 容：一号棟の文化財登録の紹介

(3) 寄稿

・博物館研究 第 54 巻 第 9 号

「新入会員館園紹介(平成 31 年度)日本獣医生命科学大学 付属ワイルドライフ・ミュージアム」

発 行：公益財団法人 日本博物館協会

発行日：2019 年(令和元年) 8 月 25 日(日)

執 筆：石井奈穂美(学芸員)

・WRV NEWS LETTER No.110

「日本獣医生命科学大学 付属ワイルドライフ・ミュージアムのご案内」

発 行：特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

発行日：2019 年(令和元年) 9 月 25 日(水)

執 筆：石井奈穂美(学芸員)

Ⅲ．収蔵資料

1. 収蔵資料目録作成状況

本年度は、当館がこれまでに収集した資料、および寄贈を受けた資料のうち受領の手続きが完了している資料を中心に、324 点の資料のリストを作成した。資料の内訳は次の通りである。

【歴史系資料】		【自然系資料】	
・教育用掛図	121 点	・剥製標本	58 点
・機器類	45 点	・骨格標本	28 点
・写真	44 点	・その他	3 点
・書籍	10 点	[合計	89 点]
・その他	15 点		
[合計	235 点]		

その他の未整理の資料(剥製標本・大学史関連資料・書籍 等)については、目録作成に向けた資料整理作業を継続している。

2. 新規収蔵資料

(1) 歴史系資料

該当なし

(2) 自然系資料

スイギュウ頭蓋骨標本 1 点(寄贈)

3. 資料の保存

(1) 日獣大掛図コレクション(仮称)の状態調査

当館では、2017 年(平成 29 年)4 月に発見された教育用資料全 121 点(教育用掛図 120 点・図面 1 点)を日獣大掛図コレクションと仮称し、保管を続けている。今年度は、展示や研究資料としての活用および修復の実施について検討するための事前調査として、日獣大掛図コレクションの写真撮影・採寸・損傷劣化状態の調査を委託した。

(2) 麻布区役所庁舎棟札の修復

麻布区役所庁舎棟札は、2018 年(平成 30 年)に一号棟の屋根裏にて発見された当館所蔵の資料である(扉写真参照)。今年度は、発見時から発生していた亀裂の進行を防ぐための修復作業を委託した。

4. 資料の貸出

(1) 本学関係者への貸出

【学内者利用番号：2019-1・2019-5・2019-8】

- ・貸出先

本学教員

- ・目的

取材に対する解説用の資料として利用

- ・期間

2019 年(平成 31 年) 4 月 12 日(金)から 4 月 17 日(水)

2019 年(令和元年) 12 月 11 日(水)から 12 月 18 日(水)

2020 年(令和 2 年) 1 月 9 日(木)から 1 月 10 日(金)

- ・貸出資料

イノシシ頭蓋骨標本 1 点

※教材としての利用を目的とした学内者への貸出に関しては「Ⅱ. 教育普及活動」(11 ページ)にまとめた

(2) 外部への貸出

【学外者利用番号：2019-0】

- ・貸出先

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館

- ・目的

展示資料として利用

- ・期間

2019 年(令和元年) 5 月 15 日(水)から 7 月 24 日(水)

- ・貸出資料

ニホンイノシシ剥製標本 1 点

ニホンジカ剥製標本 1 点

【学外者利用番号：2019-1】

- ・貸出先

アジア航測株式会社

- ・目的

展示資料として利用

- ・期間

2019 年(令和元年) 12 月 14 日(土)から 12 月 21 日(土)

- ・貸出資料

アライグマ頭蓋骨標本 1 点

タヌキ頭蓋骨標本 1 点

ハクビシン頭蓋骨標本 1 点

IV. 統計・資料

1. 入館データ

(1) 開館情報

【個別見学】【団体見学】

火曜日から金曜日の 10:00 から 16:00、土曜日の 11:00 から 17:00 を学外者の見学可能日時とし、見学を希望する個人・団体を受け入れ、開館した(見学は事前予約制とし、見学希望者は見学希望日前日までの予約が必要)。

なお、2019 年(平成 31 年) 4 月 30 日(火)から 2019 年(令和元年) 8 月 16 日(金)は、展示替えのための休館としていたが、見学可能場所が限られていることに了承が得られた場合のみ特別に開館し、個別見学・団体見学の受け入れと学内対応を行った。

【特別開館】

大学で行われるイベント(大学祭・オープンキャンパス 等)に合わせた開館および博物館が主体となる開館を行った。

【学内対応】

在学生・教職員を対象とした見学会を実施した。また、講義・実習での活用を目的に博物館を開館した。

※講義・実習での活用の詳細は「II. 教育普及活動」(11 ページ)を参照

(2) 開館実績

2019 年(平成 31 年)3 月 1 日(金)から 2020 年(令和 2 年)2 月 29 日(土)までの開館実績をまとめた。

【月別開館日数】

(単位：日)

3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	合計
8	16	0	2	1	9	3	8	7	12	8	2	76

【月別対応件数】

(単位：件)

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	合計
個別見学	8	5	-	1	-	5	3	1	3	8	7	2	43
団体対応	1	0	-	1	-	0	0	0	0	1	1	0	4
特別開館	0	0	-	-	-	2	0	1	2	0	0	0	5
学内対応	1	3	-	-	1	2	0	9	0	3	1	0	20
合計	10	8	-	2	1	9	3	11	5	12	9	2	72

(3) 来館者数

2019 年(平成 31 年)3 月 1 日(金)から 2020 年(令和 2 年)2 月 29 日(土)までの来館者数をまとめた。

【月別来館者数】

(単位：人)

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	合計
個別見学	16	22	-	2	-	7	9	8	5	16	16	4	105
団体対応	6	0	-	19	-	0	0	0	0	15	9	0	49
特別開館	0	0	-	-	-	1,418	0	186	1,208	0	0	0	2,812
学内対応	20	120	-	-	7	5	0	145	0	73	7	0	377
合計	42	142	-	21	7	1,430	9	339	1,213	104	32	4	3,343

【特別開館時の来館者数】

イベント名	期間	開館日数	入館者数
オープンキャンパス	8 月 17 日～ 18 日	2	1,379
第 68 回全国高等学校農場協会関東支部大会	8 月 20 日	1	39
オープンキャンパス	10 月 6 日	1	186
大学祭(オープンキャンパス同時開催)	11 月 1 日～ 3 日	3	1,180
第 10 回野生動物対策技術研究会 in 東京	11 月 30 日	1	28
合計		8 日	2,812 人

※ 8 月のオープンキャンパス時の来館者数にはキャンパスツアーの一環で来館した人数が含まれている

《参考 来館者数の推移》

(単位：人)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
個別見学	293	291	263	74	89
団体見学	-	-	33	6	43
特別開館	344	911	2,717	3,182	2,812
学内対応	-	-	-	424	357
合計	637	1,202	3,013	3,686	3,301

※ 2015 年度(平成 27 年度)から 2018 年度(平成 30 年度)までの来館者数は、それぞれ 4 月 1 日から 3 月 31 日までの数値である

※ 2019 年度(令和元年度)の来館者数は、2019 年(平成 31 年) 4 月 1 日(月)から 2020 年(令和 2 年) 2 月 29 日(土)までの数値である

※ 2015 年度(平成 27 年度)から 2016 年度(平成 28 年度)までの間は、団体見学の受け入れ体制が整備されていなかった

※ 2015 年度(平成 27 年度)から 2017 年度(平成 29 年度)までの間は、学内対応の人数も個別見学に含まれている

2. 組織・構成

(1) 日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム

館長 羽山伸一(獣医学部教授)

(2) 日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム事務室

事務室長(兼務) 赤星昌史

アシスタント・サポートスタッフ 石井奈穂美(学芸員)

臨時事務員 廣瀬光子

(3) 博物館運営委員会

委員長 羽山伸一(獣医学部教授・博物館長)

副委員長 太田能之(応用生命科学部教授)

委員 松石昌典(応用生命科学部教授)

山本俊昭(獣医学部准教授)

山本昌美(獣医学部准教授)

時田昇臣(応用生命科学部准教授・学芸員)

木村彰利(応用生命科学部准教授)

加藤卓也(獣医学部講師)

3. 年間の活動記録

2019年(平成31年)3月1日(金)から2020年(令和2年)2月29日(土)までの主な活動と出来事をまとめた。

2019年(平成31年)

3月

- ・ 12日(火)：団体見学の受け入れを行う(6名)
- ・ 14日(木)：学内対応として学位記授与式に合わせて開館する
- ・ 31日(日)：附属ワイルドライフ・ミュージアム年報第2号を発行する

4月

- ・ 4日(木)：学内対応として入学式に合わせて開館する
- ・ 11日(木)～26日(金)：学内対応として春季見学会を実施する
- ・ 30日(火)：自然系展示室2018年度企画展を終了し、歴史系展示室・自然系展示室ともに展示替えを開始(展示再開までの間は見学可能場所を限定した状態で個別見学・団体見学の受け入れと学内対応を行った)

2019年(令和元年)

5月

- ・ 18日(土)：武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館と共催の企画展「ヒトと動物の物語～歴史民俗資料に見る武蔵野の動物～」を開始する(7月18日(木)まで開催)

- ・ 18 日(土)：「読売新聞(朝刊)」(発行：読売新聞東京本社)に「ヒトと動物の物語～歴史民俗資料に見る武蔵野の動物～」の紹介記事が掲載される
- ・ 23 日(木)：一号棟の文化財登録に向けた実査が行われる

6 月

- ・ 22 日(土)：団体見学の受け入れを行う(19 名)
- ・ 29 日(土)：企画展「ヒトと動物の物語～歴史民俗資料に見る武蔵野の動物～」関連イベントとして、キッズイベント(日本獣医生命科学大学探検～キッズ・オープンキャンパス～)を実施する
- ・ 30 日(日)：企画展「ヒトと動物の物語～歴史民俗資料に見る武蔵野の動物～」関連イベントとして、当館学芸員が武蔵野ふるさと歴史館での出張展示解説を実施する

7 月

- ・ 2 日(水)：令和元年度第一回博物館運営委員会開催
- ・ 7 日(日)：企画展「ヒトと動物の物語～歴史民俗資料に見る武蔵野の動物～」関連イベントとして、当館館長が武蔵野ふるさと歴史館での出張講演を実施する
- ・ 13 日(土)：企画展「ヒトと動物の物語～歴史民俗資料に見る武蔵野の動物～」関連イベントとして、キッズイベント(武蔵野動物観察隊～博物館で武蔵野の動物をスケッチしよう～)を実施する

8 月

- ・ 15 日(木)：「多摩のあゆみ(第 175 号)」(発行：公益社団法人 たましん地域文化財団)に一号棟の紹介記事が掲載される
- ・ 17 日(土)：展示再開(歴史系展示室第 2 期常設展、自然系展示室第 4 期常設展、自然系展示室 2019 年度企画展の公開を開始)
- ・ 17 日(土)～18 日(日)：オープンキャンパスの開催に合わせて特別開館を実施する
- ・ 20 日(火)：本学で開催された「第 68 回全国高等学校農場協会関東支部大会」に合わせて特別開館を実施する
- ・ 25 日(日)：「博物館研究(第 54 巻 第 9 号)」(発行：公益財団法人 日本博物館協会)に学芸員による記事が掲載される

9 月

- ・ 25 日(水)：「WRV NEWS LETTER (No.110)」(発行：特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会)に学芸員による記事が掲載される

10 月

- ・ 5 日(土)：学内対応として本学保護者面談会に合わせて開館する
- ・ 6 日(日)：オープンキャンパスの開催に合わせて特別開館を実施する
- ・ 13 日(日)：台風 19 号の接近による影響を考慮し、予定していた特別開館を中止する
- ・ 15 日(火)：歴史系展示室企画展準備のため、展示室内の資料コーナーを閉鎖する
- ・ 18 日(金)：第 207 回文化審議会文化財分科会において、旧東京市麻布区役所庁舎(一号棟)の登録有形文化財(建造物)への登録が諮問される

11 月

- 1 日(金)：歴史系展示室 2019 年度企画展の公開を開始する
- 1 日(金) ～ 3 日(日)：大学祭(第 4 回医獣祭)およびオープンキャンパスの開催に合わせて特別開館を実施する / 「第 15 回 森の地図スタンプラリー」のスタンプ設置場所として博物館が活用される
- 15 日(金)：国の文化審議会文化財分科会より、文部科学大臣に対し、旧東京市麻布区役所庁舎(一号棟)を登録有形文化財(建造物)に登録するよう答申される
- 16 日(土)：「東京新聞(朝刊)」(発行：中日新聞東京本社)に一号棟の紹介記事が掲載される
- 30 日(土)：本学で開催された「第 10 回野生動物対策技術研究会 in 東京」に合わせて特別開館を実施する

12 月

- 6 日(金) ～ 13 日(金)：学内対応としてニチジュウシンポジウムに合わせて開館する
- 13 日(金)：「読売新聞(朝刊)」(発行：読売新聞東京本社)に一号棟の紹介記事が掲載される
- 17 日(火)：団体見学の受け入れを行う(15 名)

2020 年(令和 2 年)

1 月

- 1 日(水)：「武蔵野間税会 会報(Vol.176)」(発行：武蔵野間税会 会長 荒井弘美)に一号棟の紹介記事が掲載される
- 11 日(土)：聖徳学園小学校の団体見学(9 名)を受け入れ、ワークショップを実施する
- 30 日(木)：「デイリーニュース」(放送：株式会社ジェイコム東京)にて一号棟の文化財登録に関連したニュースが放送される

2 月

- 29 日(土)：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への感染防止のため、3 月 31 日(火)までの間臨時休館を開始する / 付属ワイルドライフ・ミュージアム年報第 3 号を発行する

《参考 2019 年 3 月から 2020 年 2 月の展示スケジュール》

	2019 年										2020 年	
	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
歴史系展示室	第 2 期常設展		展示室内配置換え			第 2 期常設展						
								企画展準備	2019 年度企画展			
休館												
自然系展示室	第 3 期常設展		展示替え			第 4 期常設展						
	2018 年度企画展					2019 年度企画展						

日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム 年報 第 3 号
2019 年度(令和元年度)

発行日 2020 年 2 月 29 日

編集・発行 日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム
〒 180-8602 東京都武蔵野市境南町 1-7-1
Tel 0422-31-4151(代)

印刷 株式会社 文伸
〒 181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17
Tel 0422-60-2211

学校法人日本医科大学
日本獣医生命科学大学
附属ワイルドライフ・ミュージアム

TEL 0422-31-4151(代)

URL : <http://www.nvlu.ac.jp>